

ダイヤモンド就活ナビ2022 就職モニターレポート3月調査

【調査概要】

- ◆調査対象 2022年3月卒業予定の大学院生・大学生
- ◆有効回答 432名
- ◆調査期間 2021年3月5日（金）～2021年3月14日（日）
- ◆調査方法 WEB入力フォームより回答

【回答学生の内訳】

文系	理系
349名 (80.8%)	83名 (19.2%)

【回答の多かった学生】

早稲田大学、青山学院大学、立教大学、中央大学、明治学院大学、関西学院大学、日本大学、國學院大學、神戸学院大学、東洋大学、信州大学、千葉大学、北海学園大学、北星学園大学、札幌学院大学

【大学エリア別回答学生数】

北海道	78	18.0%
東北エリア	3	0.7%
関東エリア	215	49.8%
甲信越エリア	9	2.1%
東海・北陸エリア	16	3.7%
関西エリア	50	11.6%
中・四国圏エリア	55	12.7%
九州・沖縄エリア	6	1.4%
合計	432	100.0%

◆ TOPICS ◆

<就職活動の進捗状況>

現在の就職活動状況は「就職情報会社主催の合同セミナー」（71.8%）、「個別企業のセミナー・説明会」（63.7%）、「プレエントリー」（60.6%）を中心に進行中。内定獲得は6.3%。

<Withコロナ就活の選考方法>

筆記試験・適性検査は9割以上がWebテストで受検。
内定した企業との接触に「オンライン形式」が含まれるのは8割以上。
面接選考はオンライン形式を希望する学生が多い。

<エントリー状況>

就職情報サイト等でのプレエントリー数は平均26.6社。
企業にエントリーする際の基準は「少しでも興味があればエントリーしている」がトップ。

<説明会・セミナー>

学外セミナー（就職情報会社主催・合同セミナー）平均参加回数は前年から1.7回、個別企業のセミナー・説明会への平均参加回数は2.3社増加。

【本調査に関するお問い合わせ】



株式会社
ダイヤモンド・ヒューマンリソース

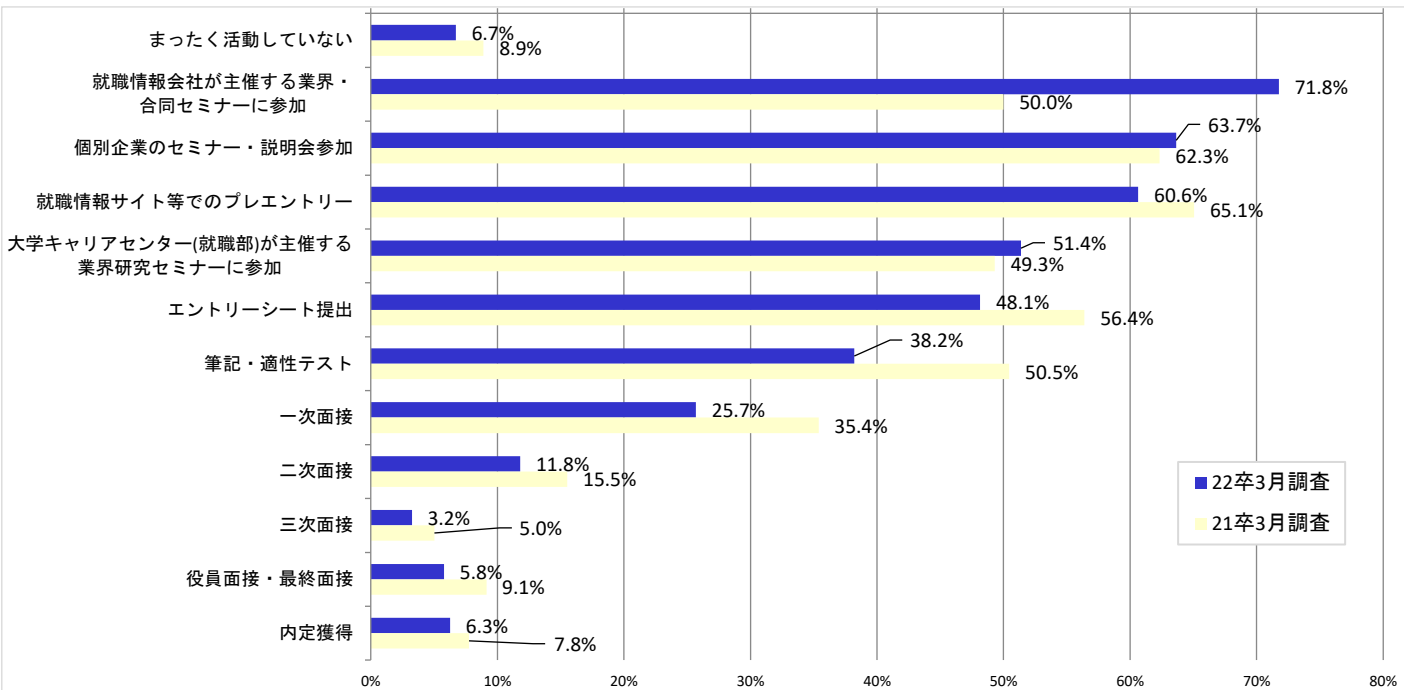
経営企画室

TEL : 03-5319-2450

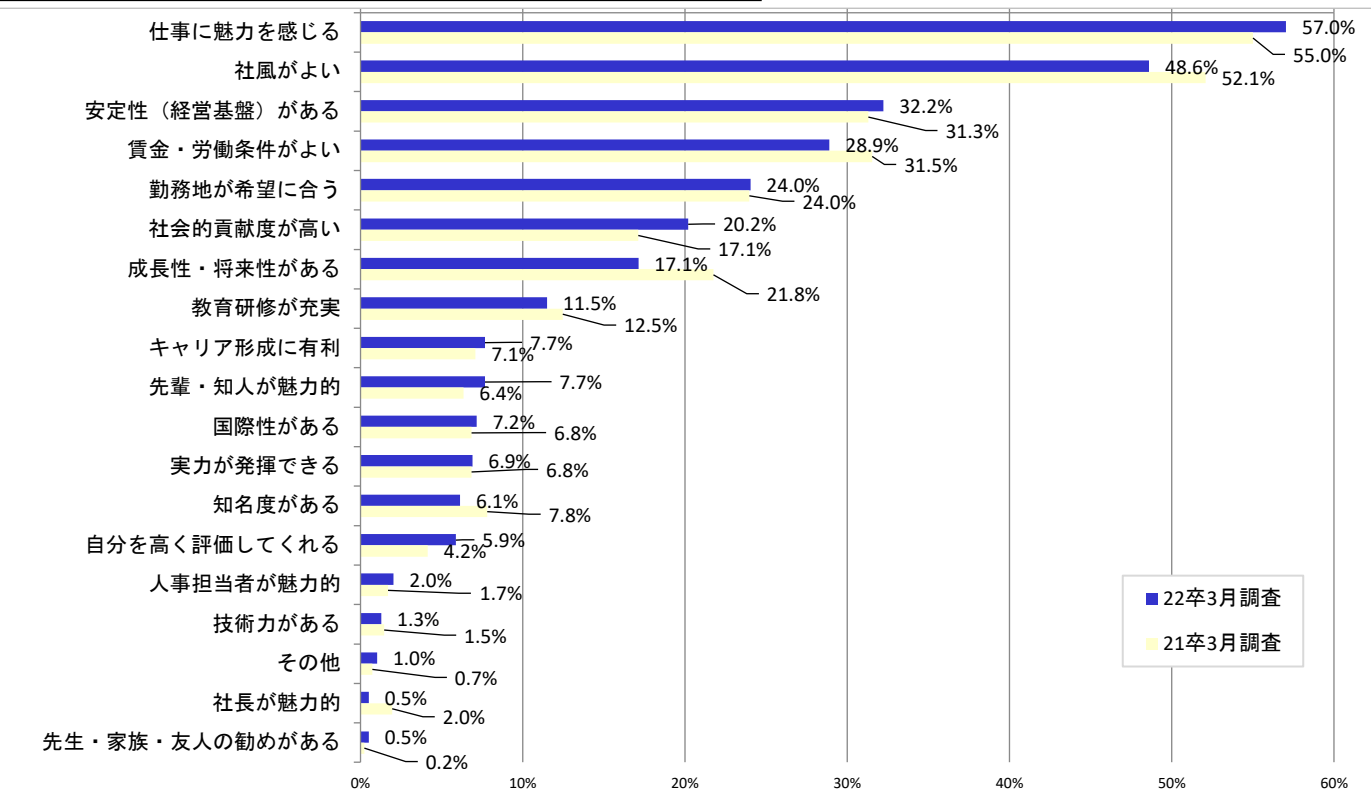
E-mail : marketing@diamondhr.co.jp

就職活動の進捗状況

◆現在の就活の進行状況で当てはまるものを全て選択してください



◆企業を選ぶ基準を、順位の高いものから3つお選びください。



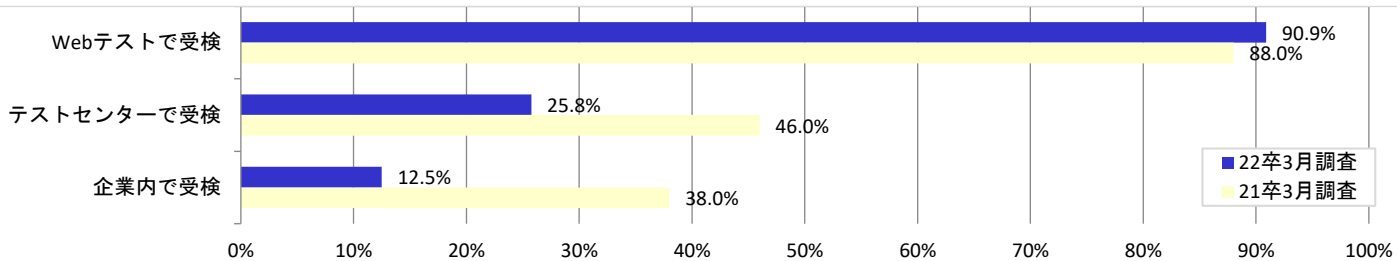
現在の就職活動状況は「就職情報会社主催の合同セミナー」(71.8%)、「個別企業のセミナー・説明会」(63.7%)、「プレエントリー」(60.6%)を中心に進行中。内定獲得は6.3%。

現在の就職活動状況は「就職情報会社が主催する業界・合同セミナーに参加」が71.8%で最も多く、「個別企業のセミナー・説明会に参加」(63.7%)、「就職情報サイト等でのプレエントリー」(60.6%)と続く。エントリーシート提出以降各段階で減少する中で6.3%の学生は「内定獲得」と回答した。

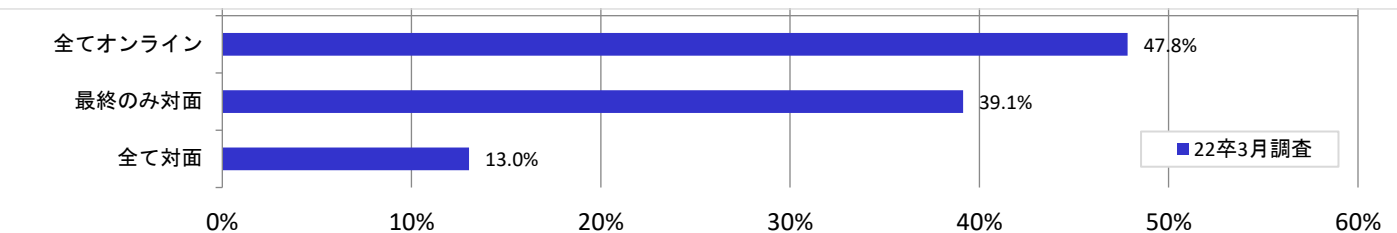
企業を選ぶ基準は「仕事に魅力を感じる」(57.1%)、「社風が良い」(48.6%)と上位2項目は例年通りだがコロナ禍を受けてか「安定性(経営基盤がある)」(32.2%)が「賃金・労働条件が良い」(28.9%)と逆転した。

Withコロナ就活の選考方法

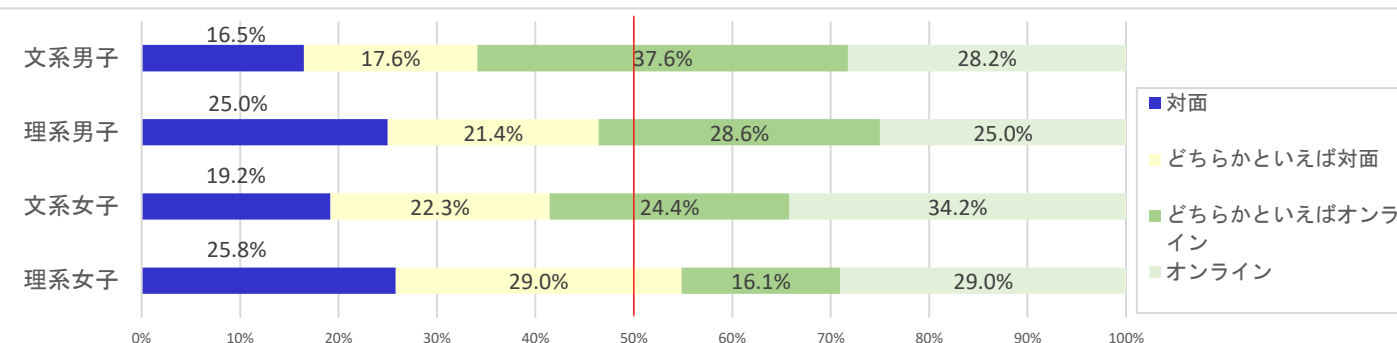
◆現在までに受検した筆記試験・適性検査について、受検方法を全て選択してください。



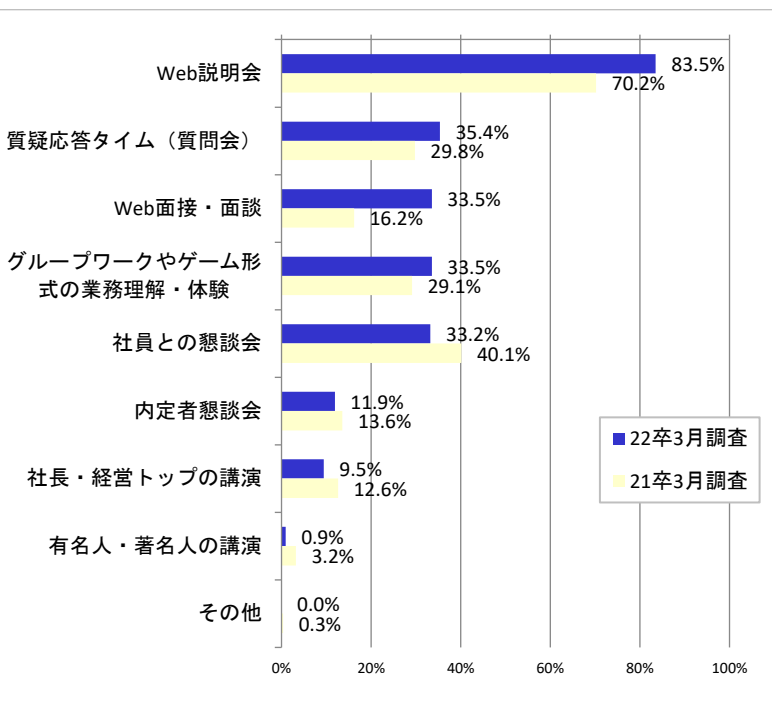
◆内定した企業とは対面で接触選考はありましたか？



◆面接選考について伺います。選考方法を選べる場合、対面とオンラインどちらを希望しますか？



◆現在までに参加した企業の説明会・セミナーで役に立ったと思われる内容をご回答ください。



**筆記試験・適性検査は9割以上がWebテストで受検。
面接選考はオンライン形式を希望する学生が多い。企業の説明会・セミナーで役に立ったものは「Web説明会」が8割以上。**

現在までに受検した筆記試験・適性検査の受検方法では「Webテストで受検」(90.9%)が9割以上となり、トップとなった。

「テストセンターで受検」(25.8%)は昨対比▲20.2ポイント(21卒:25.8%→22卒:46.0%)、「企業内で受検」(12.5%)は昨対比▲25.5ポイント(21卒:38.0%→22卒:12.5%)と、共に大幅に減少した。

内定した企業との接触は「全てオンライン」が47.8%、「最終のみ対面」が39.1%で、合計86.9%もの企業がオンライン形式を取り入れている。

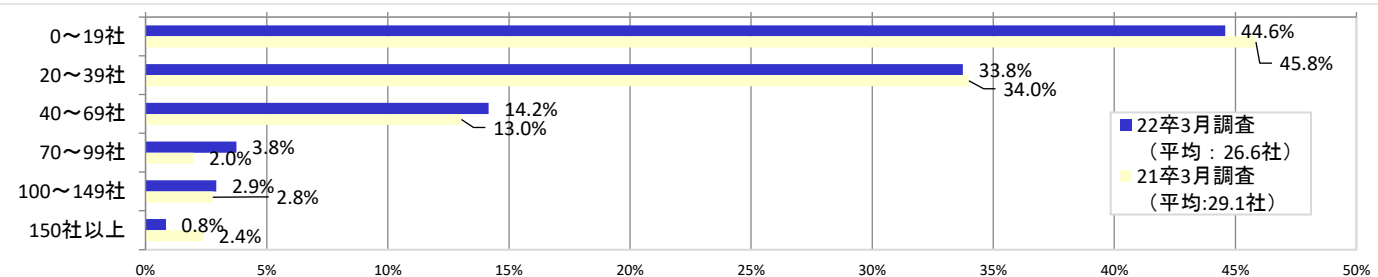
学生の希望の選考方法は文系男子、理系男子、文系女子の過半数がオンライン形式である。

現在までに参加した企業の説明会・セミナーで役に立ったと思われるのは「Web説明会」(83.5%)が8割以上でトップとなった。

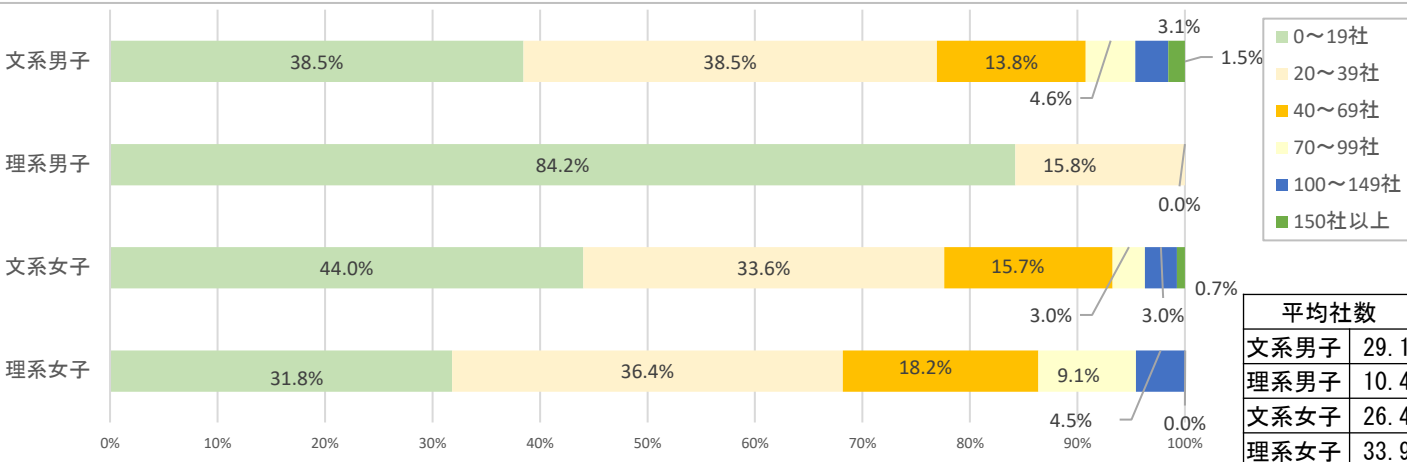
Withコロナの就活では大方のテストや説明会がWebで開催され、オンライン上での接触が当たり前になっているようだ。

エントリー状況

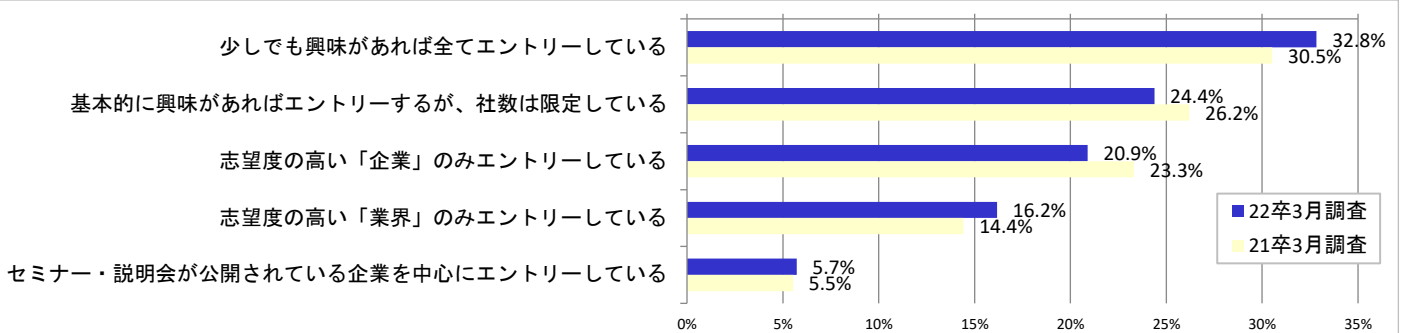
◆就職情報サイト等でのプレエントリー



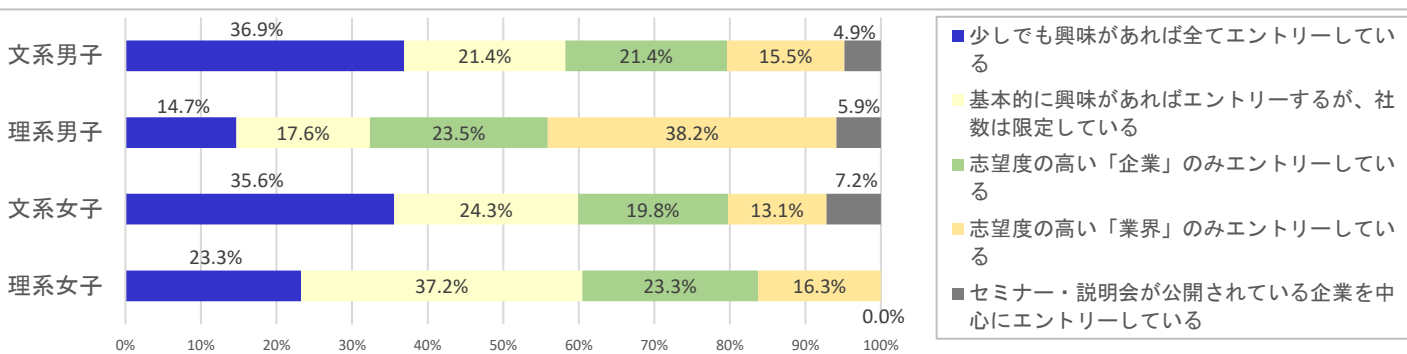
(22卒男女文理別)



◆企業にエントリーする際の基準を教えてください



(22卒男女文理別)



就職情報サイト等でのプレエントリー数は平均26.6社。

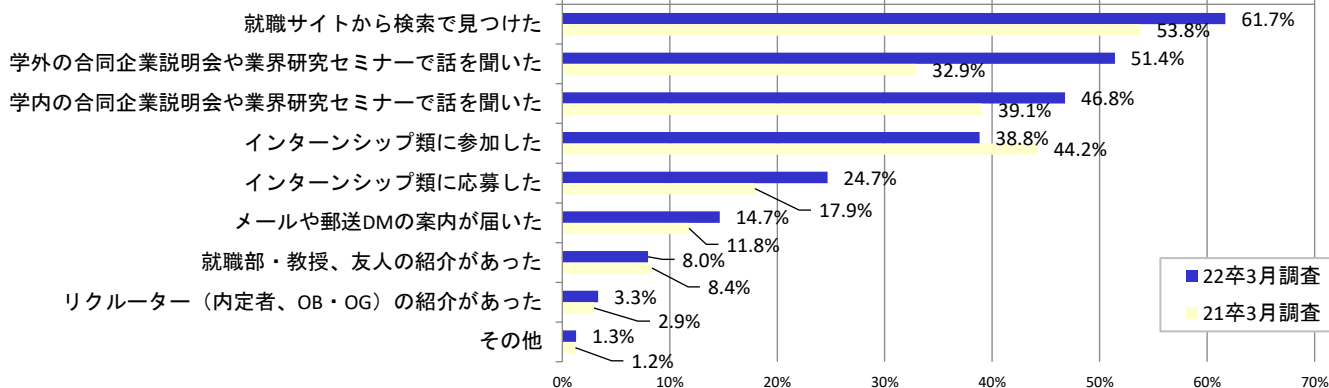
企業にエントリーする際の基準は「少しでも興味があればエントリーしている」がトップ。

プレエントリー数は「0~19社」(44.6%)が最も多く、平均プレエントリー社数は昨年から2.5社減少して26.6社となった。文理男女別では理系男子が84.2%突出して少なく20社未満のプレエントリーにとどまっている。

企業にエントリーする際の基準は「少しでも興味があれば全てエントリーする」が32.8%となった。文系男子(36.9%)、文系女子(35.6%)と文系で3割を超えているのに対し、理系女子で23.3%、理系男子は14.7%と理系学生はエントリー企業を絞り込んでいる様子がうかがえる。

説明会・セミナー

◆個別企業のセミナー・説明会に参加するきっかけは何ですか？

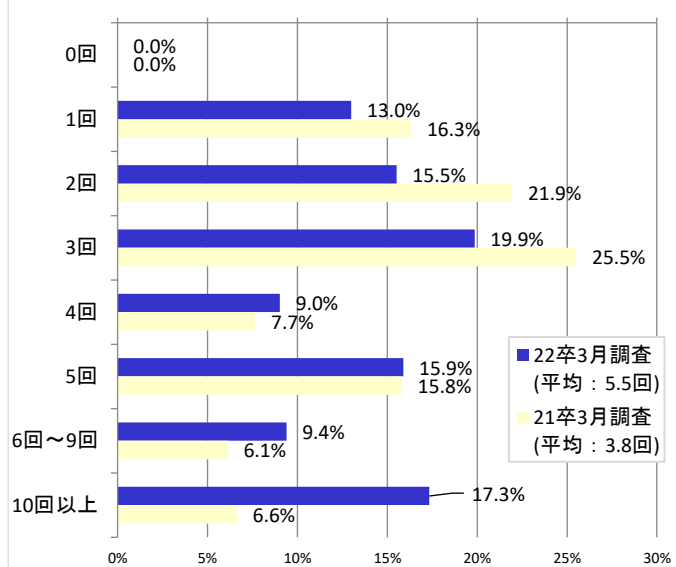
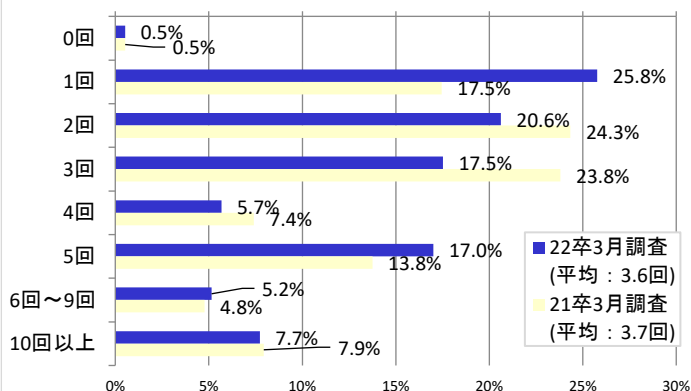


「就職サイトから検索で見つけた」約6割でトップ。「学外の合同企業説明会や業界研究セミナーで話を聞いた」が昨対比+18.5ポイントで大幅増加傾向。

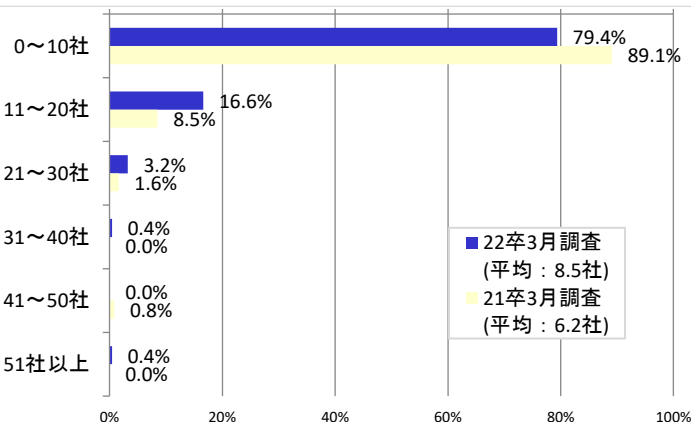
個別企業のセミナー・説明会に参加するきっかけは「就職サイトから検索で見つけた」（61.7%）がトップで、昨対から+7.9ポイント（21卒：53.8%→22卒：61.7%）増加した。次位には「学外の合同企業説明会や業界研究セミナー」（51.4%）が続き、こちらは昨対比+18.5ポイント（21卒：32.9%→22卒：51.4%）と、大幅に増加した。「学内合同説明会や業界研究セミナー」（46.8%）も7.7ポイント増加した。（21卒：39.1%→22卒：46.8%）

◆【学内】大学キャリアセンター(就職部)主催業界研究セミナー

◆【学外】就職情報会社主催業界・合同セミナー



◆ 個別企業のセミナー・説明会参加



学外セミナー（就職情報会社主催・合同セミナー）平均参加回数は前年から1.7回、個別企業のセミナー・説明会の平均参加回数は2.3社増加。

就職情報会社主催業界・合同セミナーの参加平均回数は前年から1.7回増加（21卒：3.8回→22卒：5.5回）、個別企業主催セミナー・説明会の参加平均回数は前年から2.3回増加した（21卒6.2回→22卒8.5回）。一方で、大学キャリアセンター主催業界研究セミナーは21卒：3.7回→22卒：3.6回と、横ばいであった。